

## 革命の恒常的本性・勝利の深い源

全ロシア中央執行委員会特別会議でのヤ・エム・  
スヴェルドロフを追悼する演説

1919年3月18日

同志諸君！ 全世界の労働者がパリ・コンミュンンの英雄的決起とその悲劇的な最期を追憶するこの日、われわれはヤコフ・ミハイロヴィチ・スヴェルドロフを送葬することになった。同志スヴェルドロフはわが革命の進展中に、そのかすかすの勝利のなかで、プロレタリア革命のもっとも主要なもっとも本質的な特徴を、他のだれよりも完全に、だれよりも整然と表現することができた。そしてプロレタリア革命の指導者としての彼の意義は、革命の事業にたいする彼の誠実な献身という点にあるよりもはるかにこの点にあるのである。

同志諸君！ 皮相な判断をくだす人々の目には、わが革命の数多くの敵、あるいはいまにいたるまで革命とその敵とのあいだを動揺している人々の目に、——これらの人々の目になによりもうつつのは、搾取者を、勤労人民の敵をきっぱりと、無慈悲なほど断固として処断する点に現れた、革命の特徴である。この特徴がなかったならば、——革命的暴力がなかったならば——プロレタリアートが勝利しえなかったであろうということは疑いもないが、しかしまた、革命的暴力が、革命の発展の一定の時機にだけ、一定の特殊な条件があるばあいだけに、必要かつ正当な革命の手段であるということ、これに反して、プロレタリア大衆の組織、勤労者の組織は、この革命のはるかに根づかい、恒常的な本性であり、この革命の勝利の条件であったし、いまでもやはりそうである、ということもまた疑いない。この幾百万勤労者の組織にこそ、革命の最良の条件があり、その勝利のもっとも深い源があるのである。プロレタリア革命のこの特徴こそ、かつて革命中に見られたことのないこの特質——大衆の組織化をなにもまして体現するような指導者を、闘争のなかで生みだしたものである。プロレタリア革命のこの特徴こそ、ヤ・エム・スヴェルドロフのような、なによりもまず組織者であるような人物を生みだしたのである。

第29巻『全ロシア中央執行委員会特別会議でのヤ・エム・  
スヴェルドロフを追悼する演説』

1919.3.18

### ポイント

革命的暴力が、革命の発展の一定の時機にだけ、一定の特殊な条件があるばあいだけに、必要かつ正当な革命の手段であるということ、これに反して、プロレタリア大衆の組織、勤労者の組織は、この革命のはるかに根づかい、恒常的な本性であり、この革命の勝利の条件であったし、いまでもやはりそうである、ということもまた疑いない。この幾百万勤労者の組織にこそ、革命の最良の条件があり、その勝利のもっとも深い源があるのである。